

## 学部・講義：幼児や保育者の姿、保育の現場を思い描きながら 自らの考えを深める

幼児教育・青井倫子

### 1. 授業の概要

本科目は幼年教育の専修科目（2回生対象必修）であると同時に、幼稚園教諭免許状の教職に関する選択科目（一種：必修、二種：選択必修）、保育士コースの必修科目である。

授業の内容は、(1)幼児教育の方法及び領域のとらえ方、(2)領域「人間関係」導入の背景と意義、(3)幼児をとりまく人間関係の特質と機能、(4)幼児の仲間意識発達のすじ道、(5)人とかかわる力を育む保育のあり方である。

### 2. 受講学生 20名

- 2回生:11名（教育学3名、幼年教育7名、国語教育1名）
- 3回生:7名（教育心理2名、国語教育1名、特別支援3名、生活環境1名）
- 4回生:2名（保健体育1名、特別支援1名）

### 3. 授業の工夫

(1) 全体の半数が幼年教育専修や保育士コースに所属している学生であったが、未だ保育現場の観察や実習の経験は浅い。また、幼児教育の基礎知識や、幼児とかかわった経験、幼稚園を見学した経験などがまったくない学生も4分の1程度いた。そのような学生であっても、具体的な幼児の姿や保育場面をイメージしながら授業を理解できるような配慮を常に心がけた（ビデオ視聴、幼稚園教諭と園児のやりとりを青井の演技力の範囲内で再現、青井が研究上記録した事例をプリントで配付、等）。

(2) ノートテイクに労を費やさず、授業内容を理解することに集中できるよう、授業は記入式のプリントに従ってすすめた。

(3) 学生が自らの意見や考えを持ち、それと

照らし合わせながら理解を深めていけるよう（一方的な伝達にならないよう）、発問-応答のやりとりを心がけた。

(4) 青井が幼児を演じ、学生に幼稚園教諭(保育士)として応対させ、それに対してコメントや解説を与える方法も多く取り入れた。

### 4. 授業評価の方法

14回目の授業終了時にアンケート（5段階評定と自由記述）を配付し、持ち帰って記入してもらった。回収は最終授業日に行った。

学年・専修・氏名の記入は、個々の学生の自由意思に任せた。

### 5. 授業評価の結果

- 5：たいへんそう思う（非常によい）
- 4：ややそう思う（よい）
- 3：どちらともいえない（ふつう）
- 2：あまりそう思わない（あまりよくない）
- 1：まったくそう思わない（よくない）

#### (1) 学生の自己評価

出席状況	4.5
受講前に問題意識があったか	4.0
意欲的に取り組んだか	4.2
(2) 授業に対する評価	
テーマ・目的は明確だったか	4.4
話し方は明確・聞き取りやすかったか	4.8
重要なことを強調したか	4.8
プリントに沿った授業は理解を助けたか	4.7
ビデオ視聴は授業の理解を助けたか	4.8
授業への熱意・工夫が感じられたか	4.9
内容・レベルは適切だったか	4.6
考えが培われたり得るものがあったか	4.8
学問をする雰囲気は保たれていたか	4.8
教職に就くうえで有益だったか	4.8

### (3)自由記述

#### <良かった点、印象に残った点>

- ・「領域」ができた背景から学ぶことができ、幼児教育の歴史を知らなかった私にとっては、とても刺激的な始まりだった。それからは幼児教育に無知であることに危機感を持ち、努力できた。
- ・この授業を受ける前までは、幼児教育でとても大切な「領域」について深く考えたことがなく、詳しい説明もできない状態だった。この授業を受けることで、「領域」の意味、重要性、5つの領域の関連などを知り、すべてがつながっている幼児教育って奥が深いな、おもしろいなと思うようになった。
- ・子どもたちが入園してから卒園までの経過を辿りながら、人間関係がどう変わって行くかや年齢などによる接し方など、細かく学ぶことができた。
- ・何をやるにおいても、保育者と子どもの信頼関係が大切だということが、とても頭に残っている。
- ・初めての内容もわかりやすく、実際の保育場面の事例や子どものやりとりの具体的な事例を配布し、それを見ながら考える形で授業を進めた点がよかった。
- ・授業の内容をふまえた上で、実際の子どもを想定して、どう働きかけるか（声かけをするか）を考えて実演してみるなど、より実践形式で考えるので、子どもたちを目の前にした時に活かされると思う。
- ・学生が自分の考えを述べる機会があるのが特徴的で、ただ聞くだけの授業よりも意欲的に取り組むことができた。
- ・授業中に急に当たって発表することが多かったので、常に自分の考えを持って授業に取り組むことができた。
- ・ビデオ後に全員のレポートを配布することで他の人の考えや学びを知ることができた。自分一人の視点だけでなく、多くの人の異なる視点で同じものを見て考えることができてよかった。
- ・ビデオを見たり、実際の保育現場の話を知ることができて、イメージがしやすくなりやすかった。
- ・授業の初めに前回の内容を振り返ったりまとめの話をしてくれたり、また授業を進めながらも今までやった内容と関連させたりしてくれたことが特徴的で、気持ちが授業に向か

いやすく理解しやすかった。

- ・実際に子どもたちにどのように声かけをするのか考えたり、子ども役の先生に対してやってみたりしたことが印象に残っている。自分の対応が柔軟性に欠けていることや、改めて、何が大切なのかがとてもよくわかった。
- ・様々な子どもの様子を想定してシミュレーションしておくことで、実際にそのような場面に遭遇した時、うまく対処できるのだと思った。
- ・プリントがわかりやすく整理しやすい。
- ・プリントを見るだけで学習した内容を振り返ることができるようになっていて、復習がしやすく、とても有難い。
- ・用語や事例など、丁寧に具体的な説明で理解しやすかった。
- ・いつも丁寧に授業をしてくださるので、こちらも前向きに授業を受けようという気持ちがわく。
- ・授業がしっかりと行われる中に、親しみやすさもあり、意欲的に取り組める雰囲気があった。
- ・先生と学生の距離が近いと感じた。

#### <良くなかった点、改善すべき点>

記述なし

#### <その他>

- ・幼児教育の大切なことをたくさん学べる、とても有意義な時間を過ごすことのできる授業だった。
- ・子どもとかかわる上での根本的なことを学べた。
- ・先生とのコミュニケーションがとれるところが他の授業に比べて特徴的だった。
- ・先生の話を知っていると、実際に子どもたちがここに居るわけではないのに、なぜこの場所に子どもがいるみたいに想像できて、とても楽しかった。
- ・先生の話を知ったり、ビデオを見たりする度に、何度も子どもたちの姿に感動した。
- ・いつか幼稚園教諭になりたいという夢がある。もっともっと先生の講義を受けたかった。また、いろんなことを教えてください。(4回生)
- ・幼児教育の専門的なことを学んだこともだが、それだけでなく私の人生、生活、人間関係を変えてくれた授業だった。この授業を受けてよかった。ありがとうございました。(プライベートな内容なので詳細は省略する)